

「壊された者たち」

—2 稿—

2023/1/27

川尻 佳司

〈人物表〉

川下 朝雄

(40)

物流センター作業員

榎本 透

(65)

朝雄の伯父(朝雄の母の兄)

川下 知恵

(43)

朝雄の姉

透の妻

(63)

主婦

田中 平蔵

(65)

前内閣総理大臣

〈ログライン〉

川下朝雄が殺意を抱く。

〈ねらい〉

困窮する家族の中で苦しみ、自分を保とうとするも、自暴自棄に陥り、殺意を抱く様子

1 病院・川下の病室 (昼)

6人くらいの集団病室。
川下朝雄(40)のスペースはベッドと脇机がある。
脇机にはPCと一枚の家族写真が直に置いてある。
家族写真は6歳くらいの朝雄と父母、姉が写っている集合写真。一軒家の自宅前で皆、笑顔で映る。
朝雄、ベッドに横たわり、脇のPCで動画を見ている。
動画では大きなホールに大勢人が集まって、舞台上の巨大スクリーンで大統領が演説している。
拍手や英語の演説の声が聞こえる。

2 動画に映っているホール・屋内(昼)

ホールは舞台と300人くらい入る客席がある。
舞台上に巨大スクリーン、その脇に演台があり、司会者が一人立つ。
客席は埋まっている。
巨大スクリーンに田中平蔵(65)が映る。
司会者が韓国語で田中平蔵を紹介する。
会場の大きな拍手。
田中 「ご出席の皆様、日本国前内閣総理大臣の田中平蔵です、WPUの主催のもと、よりよい世界実現のための対話と諸問題解決のために150か国の国家首脳」

3 病院・川下の病室 (昼)

榎本透(65)、病室の戸を開けて入ってくる。
透、朝雄の姿を見て、駆け寄る。
田中の声 「国会議員、宗教指導者が集う世界平和実現大会で……」
透 「朝雄、なんでこんなことした」
朝雄、黙ってうつむく。

透 「すまなかった、俺がもつとお前たち家族を見てやれてれば、こんなことにならずに……」

朝雄 「伯父さんには充分世話になってるよ、俺や姉ちゃんもなんとかやってこれたのも伯父さんのお陰だ」

透 「仁恵には何度もお姉ちゃんの面倒を見るように言っではいるんだ……」

朝雄 「母さんはあそこにすっかり洗脳されちまってるんだ、**姉ちゃんの面倒見るなんて**、そんな簡単に変えられるわけねえよ」

透 「朝雄、だけどな、自殺して保険金残そうなんてやめてくれ、な」

朝雄、黙る。

朝雄の首の痣。

透 「約束してくれ、たのむから……」

田中の声 「世界平和を共に牽引してきた盟友のハート大統領と共に演説する機会を頂けたことを光栄に思います」

透、動画に気づく。

透 「こんなもん見るな」

朝雄、動画を消す。

朝雄 「父さんの生命保険金や俺たちの家がああのホールに**なったんだ、立派だよなあ**」

透 「朝雄、いくら恨んでも、何も始まらない、お姉ちゃんもすごく心配したんだぞ」

朝雄 「……」

透 「お姉ちゃんに心配かけるな、伯父さんもできるだけ力になるから」

朝雄、涙を浮かべる。

家族写真。

大規模な物流センター。
配送の大型トラックが入ってくる。トラックのコンテナが開き、パレットに積まれた段ボール箱が現れる。

安全第一のポスター。

沢山のフォークリフトが荷物を運び、行きかう。

朝雄、フォークリフトで荷物を運んでいる。

場内の一台の監視カメラが朝雄をとらえている。

作業員A「川下」

朝雄、作業員Aに気づき、操作を止める。

作業員A「どうだ、仕事慣れたか？」

朝雄「はい、なんとか」

作業員A「黙々とき、仕事はやくて助かるよ」

整然と積み上げ、並べられている段ボール箱。

朝雄「いや」

作業員B「川下」

朝雄「はい」

作業員B「警察から電話だ」

5
病院・霊安室（昼）

川下知恵（43）の遺体が横たわる。

朝雄と刑事、知恵の傍に立つ。

刑事「溺死と思われませんが、おそらくご自分で海に入られ

たものと」

刑事が知恵の顔の覆いをとる。

朝雄、知恵にすがりついて、

朝雄「姉ちゃん、なんで、なんで」

朝雄、泣き崩れる。

6
寺・外観（夜）

本堂に知恵の斎場が設営されている。

門前に知恵の葬儀の看板。

数人の弔問客が出入りする。

7 寺・本堂 (夜)

祭壇に知恵の遺影。50人ほどが参列。

朝雄、表情は無く、家族席に座る。

弔問客Aの声「お姉ちゃん、がんばすのに大分お金が必要
だったようよ、それでももう生きてくの嫌になっ

ちゃったのかね」

弔問客Bの声「仁恵さん、だいぶあの宗教に入れ込ん

じやったもんねえ」

弔問客Aの声「旦那さん亡くしてから、頼れる人がなかつ

たからね、はつきり言って、あの宗教に殺された

ようなものよ」

弔問客Bの声「ほんとおそろしい」

朝雄、表情は無い。

8 透の家・リビング (昼)

戸建て住宅。

15畳くらいのリビング。ソファ、テレビなど家具
が置いてある。

透の妻(63)が奥の台所で洗い物している。

透、ソファで電話をかけている。

透 「だめだ、つながらない、あいつ」

透の妻「どうしちやったのかねえ、朝雄くん」

9 アパート・朝雄の部屋 (昼)

8畳くらいの和室。

ベッド、タンス、机、本棚などが置いてある。
ものが散乱して、荒れている。

机の上のPCで、WPUの世界平和実現大会にて田
中前総理の挨拶動画が流れている。

田中 「WPUの世界平和構想において、とりわけ『家
庭』の価値を評価する点に、私は高く評価いたし

ております、『世界人権宣言』にもありますように、『家庭』は社会の自然かつ基礎的集団単位としての普遍的価値を持っているのです」

朝雄の家族写真が破られて、部屋に散乱している。

1.0 物流センター・屋内（昼）

朝雄、フォークリフトで荒々しく荷物を運ぶ。

朝雄、表情は無い。

荷物をおろす音が大きく響く。

場内の一台の監視カメラが朝雄をとらえている。

朝雄から数十メートル離れたところにいる作業員C、他の作業員に指示を与えている。

1.1 朝雄の部屋（昼）

本棚に数冊の哲学の本が並んでいる。

本のタイトル「大学で学ぶ哲学」など。

田中の声「いつの時代も理想に向かう情熱が歴史を動かしてきました」

1.2 物流センター・屋内（昼）

朝雄、フォークリフトで荒々しく荷物を運ぶ。

朝雄、表情は無い。

朝雄、フォークリフトで荷物を降ろす。

作業員D「おい、そこじゃないぞ」

朝雄、作業員Dに構わず作業を続ける。

作業員D、呆気にとられながら、作業員Dを呼びに行く。

他の作業員たち、異変に気付いて、朝雄を見る。

作業員C、作業員Dの話を聞いて、朝雄を注意しにやって来る。

1.3 朝雄の部屋（昼）

銃のかたちをした粘着テープで巻いた筒が床に転がっている。

田中 「理想の前には常に壁があります、よって戦いがあ
るのです」

14 倉庫（昼）

朝雄、荒々しくフォークリフトを運転する。

場内の一台の監視カメラが朝雄をとらえている。

場内に警報音が鳴り響く。

作業員C、朝雄に向かって、

作業員C 「こらっ、お前、止まれっ」

朝雄、勢いよく荷物の山におろす。その弾みで荷物の山が大きな音を立てて崩れる。

作業員C、荷物の下敷きになりそうになり、呆然と

して座り込む。

朝雄、表情なく、作業員Cを見る。

△終わり▽